資料No. 4

TCPトリビンスプラン評価アンケート結果【教職員】

A　大いに思う　B　概ね思う　C　あまり思わない　D　全く思わない　　単位　%

評価項目	評価	R３年度	R４年度
★子供の「確かな学力」を保障する環境づくり (1)授業日の平準化により放課後の時間を生み出したことは、教員の授業準備の時間を確保し、子供の学力を保障することにつながっている。	A	31.8	21.9
	B	51.4	59.6
	C	15.9	16.7
	D	0.9	1.8
(2)各校にALTを１名ずつ配置したことは、子供の英語学習の充実につながっている。	A	62.6	70.2
	B	33.6	27.2
	C	3.8	1.7
	D	0.0	0.9
(3)プログラミング共通教材(MESH)は、子供のプログラミング的思考を高めることにつながっている。（小学校）	A	17.6	5.3
	B	51.4	74.7
	C	29.7	20.0
	D	1.3	0.0
(4)学校独自の中間テストを実施したことは、教師が生徒の学習状況をタイムリーに評価し、指導に結び付けることで、学力向上につながっている。（中学校）	A	21.6	13.6
	B	62.7	72.9
	C	11.8	11.9
	D	3.9	1.6
(5)教員補助の配置や公設学習塾の開設は、学力定着に課題を抱える子供の学力向上につながっている。	A	43.0	42.1
	B	47.7	50.9
	C	9.3	7.0
	D	0.0	0.0
(6)教員補助や外国人児童生徒相談員の配置は、特別な教育的支援を要する子供を中心としたとした個に応じた支援の充実につながっている。	A	56.1	57.0
	B	40.2	40.4
	C	3.7	2.6
	D	0.0	0.0
(7)「幼児教育カリキュラム」や「吉田探究」は、幼児期と小学校期、小学校期と中学校期校期のつながりのある教育を推進する核となっている。	A	14.0	16.7
	B	66.4	67.5
	C	15.9	14.9
	D	3.7	0.9

評価項目	評価	Ｒ３年度	Ｒ４年度
★教職員が授業等に専念できる環境づくり (1)授業日の平準化により放課後の時間を生み出したことは、授業改善のための準備時間の生み出しと、超過勤務時間の削減につながっている。	A	28.0	27.2
	B	51.4	51.8
	C	16.8	18.4
	D	3.8	2.6
(2)学校閉庁日を設定したことは、教職員の自己研鑽の時間を生み出すとともに、休みやすい環境を整える上で効果的である。	A	61.7	66.7
	B	35.5	30.7
	C	1.9	1.7
	D	0.9	0.9
(3)校務アシスタントや学校用務員、部活動指導員の配置は、教職員の業務を物理的に減らし、教職員の多忙化解消につながっている。	A	84.3	71.1
	B	9.3	25.4
	C	6.4	3.5
	D	0.0	0.0
(4)全教職員研修会やＩＣＴ研修、その他、各主任レベルの研修会は、教職員の資質能力の向上につながっている。	A	25.2	26.3
	B	60.7	67.5
	C	13.1	6.2
	D	1.0	0.0
★基盤的整備 (1)「エアコン完備」「トイレ洋式化」「教室照明ＬＥＤ化」は、安心して教育活動を行うことにつながっている。	A	77.6	79.8
	B	20.6	20.2
	C	1.8	0.0
	D	0.0	0.0
(2)「一人一台端末の整備」「大型提示装置（電子黒板・テレビ）の整備」「Ｗｉ－Ｆｉ環境の整備」は、子供の学びの充実につながっている。	A	64.5	65.8
	B	32.7	33.3
	C	2.8	0.9
	D	0.0	0.0
(3)コミュニティ・スクールを導入したことは、学校と地域との連携が深まるとともに、児童生徒が楽しく学校生活を送ることにつながっている。	A		29.8
	B		56.1
	C		14.1
	D		0.0

TCPトリビンスプラン評価アンケート結果【保護者】

A　大いに思う　B　概ね思う　C　あまり思わない　D　全く思わない　　　　単位　％

評価項目	評価	R３年度	R４年度
★保護者（家庭）の教育ニーズに応じた環境づくり (1)学校給食の実施日を増やしたことは、 保護者の負担軽減につながっている。 ※平成28年度まで概ね177日　平成29年度以降概ね190日	A	71.0	75.0
	B	21.6	19.3
	C	5.7	4.3
	D	1.7	1.4
(2)遊びや体験、学習等、様々な放課後の居場所がある。 （公設学習塾、放課後子ども教室、放課後児童クラブ） （小学校）	A	21.5	31.0
	B	56.1	54.1
	C	20.6	14.2
	D	1.8	0.7
(3)子供や保護者に対し、相談に応じる体制が整っている。 （※教育相談員を教育委員会事務局に配置、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・子供と親の相談員を町内全校に派遣）	A	16.2	18.3
	B	65.2	67.5
	C	16.8	13.0
	D	1.8	1.2
★基盤的整備 (1)「エアコンの完備」「トイレの洋式化」「教室照明のＬＥＤ化」は、 安心して教育活動を行うことにつながっている。	A	65.8	68.8
	B	31.1	28.9
	C	3.1	2.1
	D	0.0	0.2
(2)「一人一台端末の整備」「大型提示装置（電子黒板・テレビ）の整備」「Wi－Fi環境の整備」は、 子供の学びの充実につながっている。	A	43.3	47.8
	B	46.8	43.9
	C	9.3	7.4
	D	0.6	0.9
(3)コミュニティ・スクールを導入したことは、 学校と地域との連携が深まるとともに、児童生徒が楽しく学校生活を送ることにつながっている。	A		18.2
	B		58.3
	C		22.2
	D		1.3